

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ルンタ			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年4月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年4月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	食育(昼食・おやつ作り)を多く取り入れている	調理器具の安全な使い方の習得。 買い出しから調理作業、片付け(清掃)など、高学年がリーダーシップを活かせるように働きかけを行っている	畑作業を再開し、収穫体験を行っていく
2	野外活動や事業所敷地内でたくさん体を動かせる	長期休暇や休日利用日など野外活動を多く取り入れている。学校授業日でも、できるだけ外遊びができる時間を作っている	遊び道具の提供、環境整備を行う。継続して体験活動の充実を図っていく
3	実生活に結びつけられる活動内容の取り組み	公共施設などに外出する際にルールやマナーの確認を行っている	公共交通の学習(利用)を通じ、プライベートでの外出や将来的な利用につなげていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の活動や住民(子ども)との関りが少ない	地域(公民館、運動施設、公園など)の活用は行っているが、住民や子ども達と交流する機会の取り組みができていない	地域の活動等の情報収集を行う。長期休暇などを利用して交流の機会を検討していく
2	各種対応マニュアルの作成、防災訓練なども行っているが、保護者への情報が伝わりにくい状況となっている	保護者の方へ情報発信の不足	H Pや会報などを通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく
3	運動スペースの広さが十分に確保できない	高学年や中学生においては運動を取り入れた集団での活動は狭さを感じる	活動内容に応じて時間帯を変えたり、グループ分けを行い楽しく運動ができるようにしている

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ルンタ

公表日 年月日

保護者等数21（児童数24）

回収数21

割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	5	3		建物内は問題ないと思うが、道路からの急な階段は難しい	段差を減らす等の整備を進めていくよう努めています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1		1		H Pにて支援プログラムを公表しております。一人ひとりに合わせた支援ができるよう引き続き努めています
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	2	6		放課後児童クラブや児童館、地域の子どもの交流を検討していきます
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3		3	コロナ禍がおさまってきて、少しずつ保護者会が増えてきていると思います	ペアトレ等の情報を会報等でお知らせしていきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	3		2	コロナ禍がおさまってきて、イベント等も保護者も交えて行うことが増えてきました	ご家族参加型の行事を増やし、交流の機会を設けていきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	1	2		会報にて活動概要や行事予定をお知らせしています。またＨＰの拡充も行っています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		7		定期的に行っている訓練の様子を会報等で発信していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	2			年の離れた児童（小学低・中学年）との交流が苦手とどちらとも言えない	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ルンタ		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	指定基準に基づき、利用定員に対して訓練スペースを確保している 活動ごとに遊びの環境を作っている	状況によっては活動スペースの更なる確保が必要になるため、活動場所を分けたり個別対応できるスペースの使い方を工夫していく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	構造上、バリアフリー化は難しいが危険箇所の斫りを行い、整備を進めている	段差の撤去が必要である
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			部屋が限られているため、どちらともいえない
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		集団活動が難しい場合や必要に応じて個室を使用できるようにしている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	職員会議やケース会議を行い、共有できるようにしている	定期的な話し合いや、中・長期的なビジョンを持つことが必要である
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年1回実施のアンケートをもとに職員間で認識共有、改善を図るようにしている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		どちらともいえない 日々の業務の中で質問や悩みを感じた時にすぐに対応できていない状況がある
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		現時点では第三者委員会などの外部機関とはつながっていない。今後、必要に応じて実施を検討する
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修への参加や事業所内研修を行っている	法人内での研修はほとんどない
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムの作成を行い、HPにて公表している	公表されているかは分からない
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		利用契約時の聞き取り面談で日々の児童の様子から丁寧に聞き取り、アセスメントの作成を行っている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		全職員で意見や気づきを出し合い、話し合う機会がある	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		全職員が各自で個別支援計画を読み、不明な点や分からにくい部分は児童発達支援管理責任者に確認したり、職員会議で話し合っている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		フェイスシートを使った保護者からの聞き取りをもとにしたアセスメントや日々の様子を記録し確認できるようにしている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	担当職員が中心となって月間プログラムを立案し、検討、実施している	担当者の負担軽減のため、職員間の連携を図っていきたい
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		マンネリ化しないよう工夫はしている 季節・行事ごとの内容を取り入れている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日、活動記録を記入し、次回の支援につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		モニタリングに合わせて、計画の評価・見直しを行うための会議を実施し、内容の更新をしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が各会議に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		連携は教育機関がメインとなっているが、必要に応じて様々な機関との体制を整えていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		スクリーンアプリ等を活用している 必要に応じてその日の様子や課題等を学校側と共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		就学後の利用が多い 書面での情報共有はしている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	移行する際にはしっかりと情報提供を行っている	まだいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	研修を通してアドバイスを受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	児童デイとの交流はある	実施なし 交流する機会を検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	児童発達支援管理責任者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		メッセージアプリを利用して連絡体制をとっていることや送迎時に状況を伝達している。必要に応じて個別に連絡をとることもある	もっと努力は必要である
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		できていない ペアトレの情報等を共有していく
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもと保護者の意思を計画書に記載し、ニーズを踏まえてサービス等利用計画書を作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		保護者と面談を行い、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて面談や電話等で相談に応じ、一緒に考え、助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		家族参加型のイベントを行っている	来る保護者が決まっているため、これからの課題である
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった場合は面談や電話にて迅速かつ適切に対応するよう努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月、通信は発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また画像の掲載に関しても保護者の意向を確認し、同意書を作成している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			スタッフ一同、もっと学ぶ必要がある
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		これからの課題である 案は出るが今のところ実施なし
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいる	マニュアルは作成しているが周知まではできていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年2回避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	受け入れ時に食物アレルギーの有無を確認している	医師の指示書はないが、緊急時の対応や配慮・注意点について保護者への聞き取りを行っていない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		研修や訓練はできていない
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		周知が不足している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	危険な事例があった場合、報告書に記載し、会議で共有を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	虐待防止に関する研修は管理責任者が受講し、報告書や伝達研修を行い、職員間で共有している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	身体拘束は行っていないが、身体拘束を行う条件の確認、十分に説明し了解を得たうえで個別支援計画に記載する	